

経営戦略の取り組み実績について

経営指標の目標値

<電気事業>

指標	現状 (H27~29平均)	数値目標	概要
経常収支比率 ^{※1}	126%	125%以上 (毎年度 ^{※2})	設備更新や地域貢献のための財源を確保します
水力発電 年間供給電力量	169,877千 kWh ^{※3}	175,000千kWh (H40(2028)年度末)	効率的な水運用や発電施設の更新等により供給電力量の増加を図ります
地域貢献 ^{※4}	25百万円/年	5億円以上 (10年間総額)	電気事業で得られた利益で地域へ貢献します

【評価】 A:順調または妥当 B:概ね順調または妥当 C:要努力 D:要見直し

R元年度取り組み実績	進捗状況と評価(内容)	実績 又は評価
経常収益 1,516,004千円(▲1.71%) /経常費用 1,400,303千円(11.8%) =108.3%(▲14.2ポイント) ()は対前年比	・吉野発電所オーバーホール工事の実施 年度のため数値目標の対象外	参考値 108.3%
発電電力量増加に向けた既設水力発電所の 発電方式等の調査・検討を実施 <参考> (実績) 155,983千kWh ・前年度実績の 103.7% ・2028目標の 89.1%	・供給電力量の増加を含めた検討を推進し ている ・年度実績については、下記要因等により 供給電力量が少なかった ①4~5月にかけて降雨量が少なかった ②永瀬発電所導水路等点検や吉野発電所 オーバーホール等工事による発電停止 期間があった	B
地域貢献 総額 42,949千円 ・再エネ活用補助金 9,885千円 ・繰出金(再エネ関連) 11,158千円 ・ダム周辺環境整備 17,066千円 ・物部川森林整備 4,840千円	・再エネ活用補助金及びダム周辺環境 整備事業については、不採択事業や入札 不調等により予定(予算額)を若干下 回った	C

<工業用水道事業>

指標	現状 (H27~29平均)	数値目標	概要
経常収支比率	110%	115%以上 (毎年度)	黒字経営を継続します
契約率 ^{※5}	鏡川 45.6% 香南 11.7%	50%以上 (H40(2028)年度末)	給水量の拡大を図ります
鏡川工業用水道 送配水管路の耐震化率 ^{※6}	19.7% (H30年度)	25%以上 (H40(2028)年度末)	更新により送配水管路の耐震 性能を確保していきます

R元年度取り組み実績	進捗状況と評価(内容)	実績 又は評価
経常収益 263,248千円(0.76%) /経常費用 244,960千円(6.90%) =107.5%(▲6.5ポイント)	・香南工業用水道の市事業との統合は計 画時期までに実施できた ・給水量の増はR2年度以降の見込み	107.5%
給水量の拡大と企業への安定給水に向け て、香南工水と市工水事業との統合を実施 <参考> 25,131 m ³ / 55,800 m ³ =45.0% 1,097 m ³ / 8,000 m ³ =13.7% } 41.1%	・香南市工水事業と統合するなど、給水 量の拡大に向けた取組は推進してい るが、企業側の事情により、今年度の給水 量は増加しなかった	B
【検討中】 優先整備区間(配水池出口~配水管路分 岐地点まで約1.5km)のバイパス整備に 向けた概略検討を実施	・安定給水の継続に向けて、管路の更新 工事における課題整理やルート案を検討 を行った	A

※1 経常収益÷経常費用×100。当該年度の料金収入等の収益で、人件費や支払利息等の費用をどの程度賅えているかを表す指標。

※2 水車発電機のオーバーホール等大規模修繕工事を実施する年度を除外。(平成28年度の経常収支比率は123.7%)

※3 平成30年度及び31年度の予定供給電力量。昭和62年度から平成28年度までの可能発電電力量の30年平均値を基に算定。

※4 ダム周辺環境整備事業交付金、物部川水源の森整備事業費補助金及び地域振興積立金を活用した事業(再生可能エネルギー活用事業費補助金及び一般会計への繰出し)を想定。

※5 契約水量÷給水能力×100。なお、香南工業用水道は計画給水能力の日量8千m³にて算出。また、契約率の現状は、鏡川、香南ともに平成30年4月時点の契約給水量から算出。

※6 香南工業用水道の耐震化率100%。経済産業省の資料では、工業用水道事業における管路の耐震適合率は、平成27年度末時点で40%であり、平成31年度までに44%以上にするを目標とされている。

電気事業

【評価】 A: 順調または妥当 B: 概ね順調または妥当 C: 要努力 D: 要見直し

(1) 電力システム改革への柔軟な対応及び (2) 施設の老朽化対策

取り組み名	H31年度 (2019)	H32年度 (2020)	H33年度 (2021)	H34年度 (2022)	H35年度 (2023)	H36年度 (2024)以降	目標
■事業収支の向上に繋がる 方策の検討	ダム・発電所の適正な維持管理・効率的な運用 H30委託成果精査 方針検討	発電電力量増に向けた検討					発電所 ランゲ更新 又は リニューアル 1箇所 (2028)
■老朽化施設の 計画的な施設 の修繕・改良 の推進	(優先順位検討) 吉野リニューアルの検討		永瀬改修検討 (永瀬ランゲ流体解析)		永瀬2G 実施設計 H39永瀬2G		
	計画的な施設の更新 吉野OH	集中監視制御 システム更新		吉野屋外変電設備更新			
	杉田OH実施内容の検討			杉田OH			
	長期修繕改良工事計画の見直し検討と改訂						
■水力発電の 売電方法の検討	情報収集・整理 方針検討 契約準備 売電方法の検討	情報収集・整理 料金 方針検討 契約準備	情報収集・整理 料金 方針検討 契約準備	情報収集・整理 料金 方針検討 契約準備	情報収集・整理 料金 方針検討 契約準備	情報収集・整理 料金 方針検討 契約準備	売電料金 収入 14億円 (年間) 基本契約 終了★

R元年度取り組み実績	進捗状況と評価 (内容)	評価
<ul style="list-style-type: none"> 長期発電停止を引き起こす可能性のある杉田発電所アークアーなどの適切な修繕により事故の未然防止に努めた 3水力発電所のリニューアルに向けて、概略検討を実施した結果、FIT活用は困難と判断した。国で検討されている新たな制度の活用も視野に、各発電所の最適な改良計画を作成することとした 吉野発電所オーバーホールの実施 集中監視制御システムの更新工事の発注及び詳細仕様の設計 	<ul style="list-style-type: none"> ダム・発電所の適切な維持管理・運用を継続できている 水力発電所のリニューアルの概略検討を基に、国と事前協議を行った。このことによりFIT活用の課題が明確になり、今後の方向性を定めることができた 計画的な施設の修繕・改良に取り組んでいる 	B
<ul style="list-style-type: none"> 新たな電力市場等（非化石価値市場、容量市場、発電側基本料金など）について情報収集しながら適宜対応した R2・3年度の料金改定では、豪雨災害リスクに備える費用を含む電力料金を確保した 	<ul style="list-style-type: none"> 四国電力との契約改定により、R2・3年度は目標を達成できる見込みである。加えて、R4年度以降の目標達成に向けた電力市場等への対応も進めている 一方で、電力市場価格の低下も予想されることから、動向を注視しながら先を見据えた売電方法等を検討していく必要がある 	A

(3) 災害に強い体制の整備

取り組み名	H31年度 (2019)	H32年度 (2020)	H33年度 (2021)	H34年度 (2022)	H35年度 (2023)	H36年度 (2024)以降	目標
■豪雨災害や南海トラフ地震に対する管理体制の強化	放流対応訓練の実施						各訓練 1回以上 (年間)
	関係機関との連携強化						
	資金確保策の検討	資金の確保					
	震災対応訓練の実施とマニュアル等の見直し						
■施設の強靱化	杉田ダムの適切な水運用の実施						-
	事例研究及び対策検討						
	永瀬取水口スクリーン修繕						

【評価】 A: 順調または妥当 B: 概ね順調または妥当 C: 要努力 D: 要見直し

R元年度取り組み実績	進捗状況と評価 (内容)	評価
<ul style="list-style-type: none"> 訓練等の実施(洪水対応演習、震災対応訓練及び研修、系統事故復旧訓練) 関係機関との情報を共有(ダム予報連絡会、物部川大規模氾濫に関する減災対策協議会、四国6水系既存利水ダムの洪水調節機能強化に向けた協議) 豪雨災害対策費の電気料金への織り込み 発電所の臨時点検(2次)のマニュアル作成 	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理体制の強化に向けた取り組みを推進している 震災対応訓練等の実施を踏まえたマニュアル見直し等が行われている 	A
<ul style="list-style-type: none"> 杉田ダムの適切な水運用を実施 永瀬発電所取水口スクリーン修繕工事の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 杉田ダムの適切な運用の継続 永瀬発電所取水口工事の安全な施工 	-

(4) 再生可能エネルギーの推進と地域還元

取り組み名	H31年度 (2019)	H32年度 (2020)	H33年度 (2021)	H34年度 (2022)	H35年度 (2023)	H36年度 (2024)以降	目標
■再生可能エネルギーの導入支援	市町村支援						5億円 (10年間 総額)
	繰出し支援						
	大豊風力運転終了★撤去		積立金検討				
			南喜ヶ峰風力リプレイス検討			南喜ヶ峰風力FIT期間終了★	
◆地域還元事業の推進	ダム周辺環境整備事業交付金						
	物部川水源の森整備事業補助金						
	公営企業局の森の適切な管理						

R元年度取り組み実績	進捗状況と評価 (内容)	評価
<ul style="list-style-type: none"> 市町村への小水力調査への支援(再エネ補助: 交付額 9,885千円、不採択事業1件) 一般会計の再エネ関連事業へ繰出し(11,158千円) 大豊風力発電所の運転終了、撤去工事の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村の取り組みをフォローし、次年度につなげられている事業がある一方で、不採択となった案件もあったことから、市町村への更なるフォローも必要 	C
<ul style="list-style-type: none"> ダム周辺環境整備事業(17,066千円)香北地区2事業・物部地区3事業 物部川水源の森整備事業(4,840千円) 公営企業局の森の適切な維持管理(岡ノ内除間伐2.18ha・360千円 中上除間伐0.80ha・138千円及び現地広報用看板の整備に着手) 	<ul style="list-style-type: none"> ダム周辺環境整備事業については、入札不調による未執行案件もあったことから、事業の進捗状況等について対象市町村との更なる情報共有が必要 	C

工業用水道事業

(1) 工業用水の需要低迷への対応

取り組み名	H31年度 (2019)	H32年度 (2020)	H33年度 (2021)	H34年度 (2022)	H35年度 (2023)	H36年度 (2024)以降	目標
■給水先(給水量)の拡大 鏡川 香南	営業活動(鏡川)						契約水量 29,000 m ³ /日
	新規需要拡大可能性検討(鏡川)						
	市工水との統合に向けた取り組み(香南)						
	効率的な運用(香南)						
■更なる事業の効率化 鏡川 香南	施設の適切な維持管理(鏡川・香南)						給水支障 ゼロ (年間)
	事業の効率化の推進(鏡川・香南)						
	管路更新時のダウンサイジングの検討(鏡川)						
	効率的な運営(香南)						

【評価】 A:順調または妥当 B:概ね順調または妥当 C:要努力 D:要見直し

R元年度取り組み実績	進捗状況と評価(内容)	評価
<p><鏡川></p> <ul style="list-style-type: none"> 契約水量 25,131 m³/日 (R元年度実績平均) <p><香南></p> <ul style="list-style-type: none"> 契約水量 1,097 m³/日 (R元年度実績平均) 市工水との統合に向けた施設整備の実施 香南市との調整及び国への諸手続きの実施 	<p><鏡川></p> <ul style="list-style-type: none"> 契約水量を維持できている <p><香南></p> <ul style="list-style-type: none"> 市工水との統合に向けた手続き等は順調に進められた 一方で、企業側の事情により、今年度は給水量が増加しなかった(再掲) 	B
<ul style="list-style-type: none"> 適切な維持管理により、給水支障はなかった 点検基準の見直しの実施 	<p><鏡川、香南></p> <ul style="list-style-type: none"> 香南市工水との統合により施設が増加したが、限られた人員で、適切な維持管理と効率的な運営に努めている 	A

(2) 施設の耐震・老朽化への対応

取り組み名	H31年度 (2019)	H32年度 (2020)	H33年度 (2021)	H34年度 (2022)	H35年度 (2023)	H36年度 (2024)以降	目標
■老朽化施設の計画的な修繕・改良の推進 鏡川 香南	施設の計画的な修繕・改良の実施(鏡川・香南)						優先整備 区間の 管路 更新 (2028)
	委託調査(鏡川・香南)						
	方針等検討						
	対策の実施						
■地震対策の充実強化 鏡川 香南	更新施設の精選と実施に向けた取り組み(鏡川)						訓練 1回以上 (年間)
	管路更新概略検討						
	基本設計						
	実施設計						
方向性検討							
利用者への説明							
国との協議							
料金改定(案)							
★							
長期修繕改良工事計画の見直し検討と改訂(鏡川・香南)							
震災対応訓練の実施とマニュアル等の見直し(鏡川・香南)							
備蓄品購入(鏡川)							
被災時の代替給水策の検討(鏡川)							

R元年度取り組み実績	進捗状況と評価(内容)	評価
<ul style="list-style-type: none"> 今後の進め方等を検討 施設の耐震診断を実施(鏡川送水ポンプ場、香南中央ポンプ場及び西野接合井)し、耐震性能が不足する西野接合井の対策工事費の予算化 管路更新概略検討の完了 道路管理者等と占用条件について協議 長期修繕改良計画の見直し検討及び実施 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断と同一年度に実施設計を行ったことにより、香南工水の耐震対策が1年前倒しできている 管路更新に向けて順調に検討を進めている 修繕改良計画を精査し、工事の予算要求ができています 	A
<ul style="list-style-type: none"> 震災対応訓練の実施及びBCP改定 貯蔵品の購入 香南工水の給水分岐施設(5箇所)の設置 鏡川送水ポンプ場の電源確保の必要性を検討し、ユザ-等へのヒアリング結果を踏まえ対策不要を確認 	<ul style="list-style-type: none"> 地震対策について訓練の実施と必要な検討を進め、マニュアルへの反映ができています 	A

共通事項

(1) 組織体制の強化と人材育成

取り組み名	H31年度 (2019)	H32年度 (2020)	H33年度 (2021)	H34年度 (2022)	H35年度 (2023)	H36年度 (2024)以降	目標
■若手職員の教育の充実と能力向上の取り組み支援	OJTの強化						資格取得 1名以上 (年間)
	資格取得推奨						
	局内発表会の開催と外部発表の推進						
■震災対応訓練の充実	震災対応訓練の実施とマニュアル等の見直し[再掲]						訓練 1回以上 (年間)
	備蓄品購入(鏡川)						

【評価】 A:順調または妥当 B:概ね順調または妥当 C:要努力 D:要見直し

R元年度取り組み実績	進捗状況と評価(内容)	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・新採職員の特別教育及びOJTの実施 ・資格取得者33名(電験2種、小型船舶、陸上特殊無線ほか) ・局内発表会の実施(2回、発表6名) ・工業用水道事業研究大会での事例紹介(1名、新規受水企業への支援制度について) 	<ul style="list-style-type: none"> ・OJTの強化及び資格取得の奨励等を積極的に推進している 	A
(再掲:電気事業、工業用水道事業)	<ul style="list-style-type: none"> 【電気事業】 ・震災対応訓練等の実施を踏まえたマニュアル見直し等が行えている 【工業用水道事業】 ・地震対策について訓練の実施と必要な検討を進め、マニュアルへの反映ができています 	A

(2) 経営の効率化

取り組み名	H31年度 (2019)	H32年度 (2020)	H33年度 (2021)	H34年度 (2022)	H35年度 (2023)	H36年度 (2024)以降	目標
■発注の工夫等による経費削減の推進	経費削減の推進						—
■民間活用による効率化等の検討	民間活用による効率化等の検討						—
■新技術の活用による効率化の検討	発電施設への新技術活用検討						新点検 技術導入 1件以上 (2028)
	工水施設への新技術活用検討						

R元年度取り組み実績	進捗状況と評価(内容)	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・競争性確保に係る精査の実施 ・契約までの迅速性や競争性の確保などの観点から経費削減につながる発注を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・経費削減に向けた取り組みを推進している 	—
<ul style="list-style-type: none"> ・水力発電所リニューアル検討に向け、PPP/PFI手法を簡易検討するとともに、デザインビルド方式の調査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間活用について検討を実施している 	—
<ul style="list-style-type: none"> ・国の検討WGへ参加し、IoT等新技術の活用検討を実施 ・他県活用事例の情報収集を実施 ・公営企業局の森巡視におけるドローンの試行活用 ・鏡川工水ポンプ場地下水槽の点検における水中ドローンの試行活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・新技術の活用に向けて、事例収集及び試行に取り組んでいる 	B